

令和4年度 学校マネジメントシート

三重県立伊賀白鳳高等学校

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		(教育課程の編成及び実施に関する方針) 「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校 ～地域の学校として、地域の子どもたちを地域で活躍できる人材に育成する学校～
(2)	育みたい 児童生徒像	(育成を目指す資質・能力に関する方針) ・自ら学び、判断し、行動する生徒 ・思いやりの心と規範意識をもち社会に貢献する生徒 ・専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒
	ありたい 教職員像	・生徒の最も身近にいる大人として、大人の見本を示すことのできる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	〈生徒〉 ・学校生活の充実と自己実現への支援（進路・学力保障、資格取得、部活動） 〈保護者〉 ・子どもの成長（基本的な生活習慣、学力、マナー、部活動等）と進路保障 〈地域〉 ・専門的な知識・技術、人間性を身に付けた人材育成 ・専門性を生かした地域と連携した取組	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	〈保護者〉 ・基礎学力の向上 ・資格取得等の専門的な知識技術を生かした進路保障 〈企業等〉 ・企業人、社会人として活躍できる人材育成（基礎学力、専門知識・技術、マナー、コミュニケーション能力等） 〈大学・短大・専門学校〉 ・進学後困らない基礎学力とコミュニケーション能力の定着 〈中学校・小学校・保育園等〉 ・地域の専門高校としての役割 ・系統的なキャリア教育のパートナー 〈地域〉 ・学校の持つ資源（専門知識、技術、人、施設等）の提供 ・地域活性化への貢献 ・防災拠点	〈保護者〉 ・ともに生徒を育てていくための学校教育への理解と協力 ・生徒の健康管理 〈企業等〉 ・インターンシップ、デュアルシステム等の受け入れ ・安定した雇用の継続 〈大学・短大・専門学校〉 ・より高度で専門的な知識・技術等の獲得 ・進路先としての生徒の受け入れ 〈中学校・小学校・保育園等〉 ・基礎学力の定着 ・継続的な指導のための、生徒個々の情報の提供 〈地域〉 ・学校教育への支援

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上とともに、時代のニーズ基礎学力の向上とともに、時代のニーズに合った特色ある専門分野の知識習得の取組みを期待します。 ・今後は更に専門的知識を持った人材が必要とされていきますので、合格率を高めたい ・コロナ禍で高校生もストレスを感じていると思います。そんな時だからこそ出来る事、今まで気付かなかった事等を見出すチャンスと受け止め、生徒の皆さんには希望を持っていただきたい。 ・学力を向上させるため、学ぶことの楽しさや将来の目標に向かって努力することの大切を示しながら取組み、指導していただいている。 ・定時退校日に全職員が退校するのが厳しい場合は、チーム制で最低月2回の定時退校日を設けられるといいと思います。
-------------------------	--

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の興味・関心や適性に合った進路を選択し、その実現に向けて、社会で求められる基礎学力、専門知識・技術とともに、社会的マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成する。 ・検定合格や資格取得、部活動における成果等を通して、生徒の自尊感情を高め自信とやる気を引き出し、自己実現に向けて努力する生徒を育成する。 ・企業での実習や専門家による指導、商品開発など、実践的な職業教育を推進する。 ・学科の枠を越えた6次産業の取組等、より実際の現場につながった学びを進めるとともに、チャレンジ精神や起業家精神の醸成を図り、将来のスペシャリストや地域産業を担う人材を育成する。 ・それぞれの職業分野で必要となるAIやデータ分析等に関する知識・技術を身につける学習を一層進めるとともに社会や産業界社会や産業界を題材とした学習の中で、習得した知識・技術を実践的に活用する機会を設ける。 ・生徒の人権感覚を磨き、相手の立場に立って行動することができる、思いやりの心を育てる。 ・地域の教育力を活用し、生徒が主体的に活躍することで、生徒自らの自尊感情を高め、地域の活性化に貢献できる生徒を育成する。 ・自己表現力、コミュニケーション能力を有し、自発的な活動に意欲的に活動できる生徒の入学を図る。(入学者の受入れに関する方針)
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会の活性化をはかり、教員一人一人の授業力向上に取り組む。 ・生徒や保護者と積極的にコミュニケーションをとり、複数の教職員が係わりながらきめ細やかな教育相談や支援を行う ・総勤務時間の縮減や休暇の取りやすい職場など、働きやすい職場づくりをめざす。 ・風通しのよい職場づくりに取り組み、個々の教職員との対話を大切にし、学校に対する思いを共有し、全教職員の意思統一を図る。

4 本年度の行動計画

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<p>○授業によるICTの活用を進め、魅力ある授業を実践する。 【活動指標】 ・生徒一人1台端末を活用した授業を実践する教員 100% (教員が端末を活用69.4%)</p> <p>○グループワークや発表の機会を積極的に取り入れ、授業で主体的に考える力、表現できる力を育成する。 【活動指標】 ・グループワークや発表の場をすべての教員が実践する。 【成果指標】 ・授業で主体的に考える、表現できている生徒 90% (85.8%)</p> <p>○基礎学力向上させ、生徒の学習意欲や自信を育む。 【成果指標】 ・基礎力診断テストにおける国語、数学、英語のGTZが、各学年、C3以上40%以上D2以上75%以上 (1年37.6%、71.7% 2年37.7%、68.1% 3年38.8%、84.2%) 【活動指標】 ・すべての教員が授業毎に生徒が学習を振り返る機会を設ける。</p>		
各学科における指導	<p>○各種資格・検定試験の合格率を向上させ、生徒の学習意欲や自信を育み進路実現につなげる。 【活動指標】 ・各科で実施する資格・検定等の合格率を設定し、指導の充実を図る。 【成果指標】 ・検定や資格の合格率を70%以上 (65.5% 2月)</p> <p>○安全教育を徹底する。 【成果指標】 ・実習における事故、怪我を0にする。</p> <p>○地域や関連産業との連携をすすめる。 【活動指標】 ・地域や関連産業との連携した取組を年間5回</p>		
生活指導	<p>○教育活動全般を通じて、授業を大切に、規範意識や挨拶、言葉遣いの指導を行う。 【活動指標】 ・教職員から積極的な挨拶を行う。 ・チャイムにより授業を開始する。 100% (93.7%) ・教室では、防寒着を着ないように指導する。 100% (93.2%) ・学校遅刻、授業途中入退室を減らす。 (学校遅刻 11.3人 (前年比1.6人増)) (授業途中入退室 6.3人 (前年比0.5人増)) (1クラス当たりの月平均)</p>		
進路指導	<p>○進路ガイダンスや進路相談、情報提供によって、自己に適した進路を主体的に選択できる指導をおこなう。 【活動指標】</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・学科と連携した進路相談、面接指導の充実を図る。 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・「就職・進学について自己実現ができた」3年次生徒95%以上。(95.6%) ・進路相談シートを活用する生徒 100% (-) ・学校斡旋を希望する就職希望者の内定率100%(98.8%) ・進学希望者の希望実現100%(96.2%) <ul style="list-style-type: none"> ○学校行事等教育活動に目的を持たせたキャリア教育を実施する。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・学年別進路ガイダンスの実施、「キャリアデザインI・II」の充実 ・全学年でのキャリアパスポートの活用 		
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ○人を傷つけない行動をするための生徒の主体的な取組を支援する。 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の大切さと共に他の人の大切さを認める力が高まった。」と感じている生徒80%以上(そう思う59.1%) ・生徒が主体的に取組む学習活動年3回以上 ・公開授業 年1回 		
部活動	○部活動を通して競技力の向上を図るとともに、人間力の向上を目指す。		

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
教員の指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○教員相互の授業見学や授業研究、生徒の「授業アンケート」の活用を通し、「魅力ある授業」を構築する。また、そのために「授業アンケート」の中身について、見直しを進める。 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・「授業見学シート」の提出 80%以上(83.8%) ・「授業アンケート」を活用 80%以上(68.9%) <ul style="list-style-type: none"> ○各種研修を実施し、高いコンプライアンス意識、人権意識を持つ。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修 年間3回 ・校外での職員研修に2回以上参加(のべ180名) 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の学校満足度90%以上(82.9%) 		
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学校要覧・学校案内・広報やHP・マスコミを活用して中学生やその保護者等への情報提供を積極的に行う。 各部、各科、各部活動でマスコミ等への積極的な情報提供に努める。 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・HP、インスタグラムの更新を年間80件以上、フォロワー400人以上。広報紙年間10回(62件、295人10回) ・ケーブルテレビ等での放送回数:20回(18回) ・中学生の本校への進学希望者数を定員の1.03倍(12月調査)(0.98倍) 		
防災・危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒、職員ともに実践的な危機管理意識を高める。 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練・避難訓練年間2回(2回) ・防災講話年間1回(1回) 		
教育相談特別支援人権	<ul style="list-style-type: none"> ○保健部(教育相談、特別支援教育)と学年団の情報共有、家庭や外部教育機関との連携をすすめる。 ○生徒と教職員の関係性を深める。 【活動指標】		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な情報交換を年間12回開催。(11回) ・ 人権面談、進路面談を実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談できる人がいる割合80%以上 (本校職員：49.3%、本校生徒：78.9%、本校以外：81.4%) 		
<p>働きやすい 職場環境</p>	<p>○総勤務時間の縮減に向け、効率的な業務推進や年休等の制度を有効活用しやすい環境整備に努める。</p> <p>○教育活動に対してすべての教職員が協力・協同して取り組むことができるよう協力体制のある職場づくりをおこなう。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の情報共有、資料の事前配布により、会議の回数や会議の時間を減じる。 ・ 定時退校日に退校できた教職員の割合 80%以上 (76.1%) ・ 計画した日に休養日を設定できた部活動の割合 100% (95.6%) ・ 放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合 80% (59.2%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人当たりの月平均時間外労働時間30時間以下 ・ 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人 (57人) ・ 年360時間を超える時間外労働者の人数 0人 (7人) ・ 一人当たりの年間休暇取得日数 平均17日以上 (17.0日) 		